

株式会社こおろぎ社

福井県丹生郡越前町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

極限の音を追い求めるクラフトマンシップ 「より良い製品をよりお求めやすく！」

- 使用者の目線に立って音質と使用性向上をめざした、飽くなき探求心による製品の開発と改良
- 良い製品をお求めやすくする、高度な職人技を補完する生産技術の向上のための製造設備の内製化と自動化
- クラフトマンシップに裏打ちされた、最良の品質とリーズナブルな価格を実現する一貫生産管理システム

企業基本情報

| | |
|----------|---------------------------|
| 所在地 | 福井県丹生郡越前町佐々生 38-9-1 |
| 電話 / FAX | 0778-34-2333/0778-34-2687 |
| U R L | http://www.korogi.co.jp/ |
| 代表者 | 代表取締役社長 齋藤 宰 |
| 設立 | 1953年 |
| 資本金 | 1,960万円 |
| 従業員数 | 23人 |



会社概要

1953年創業のマリンバ、シロホン等の打楽器の製造販売。原木から厳選するクラフトマンシップに裏打ちされた高度な加工技術と独創的なアイデアを生かした製品開発。その品質と使い勝手がマッチした完成度の高い製品と顧客サービスの充実により、世界でトップレベルの評価を得ている。

現在、国内のコンサート用マリンバ市場で40%を超えるシェアを獲得。また約20%が海外へ輸出。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

音質と使用性向上をめざした飽くなき探求心による製品開発

楽器製造の基本を押さえつつ、より使いやすくパフォーマンスの高い楽器となるよう、大胆な改良・開発を継続的に行っている。ワンタッチで高さの変更が可能な機構や、開口部裾を広げたヘルムホルツ型の量産型共鳴管を世界で最初に開発。また、共鳴管をボルトレス化することで運搬・組み立てに便利なバス共鳴管分解方式他、オリジナルパーツを開発。様々な工夫が施され、音質と共に使い勝手も向上した優れた製品は、演奏家だけでなく一般ユーザーからも高い評価を受け、売上高上昇に寄与している。



高さ変更がワンタッチで可能な独自の機構

生産技術の向上を目指した製造・検査設備の内製化と自動化

高度な職人技が必要な楽器製造において、同社は生産性の向上を目指した自動化を推進している。例えば、正確・特殊な加工が求められるマリンバの音板の加工工程で用いられる音板自動加工ライン等の製造装置は自社開発。塗装工程の無人化のため塗装用産業ロボットを導入し、また、金属加工を伴う共鳴管やフレーム部分の加工・製作工程でも、NC切削加工装置、自動プレス機、自動ピン打機、共鳴管用パイプ切断自動装置等を自社開発・導入し、業務効率化を積極的に推進している。



塗装工程を無人化した塗装ロボットの導入

最良の品質と低価格を実現する一貫生産管理システム

コンサート用マリンバでは国内40%以上のシェアを有し、製品は世界で唯一、原木から一貫生産されている。選定された原木を数年間の乾燥工程を経て加工し、その中でも上位30%のみが音板に用いられ、高度なスキルを有する調律師により正確に音程を合わせ製品化される。高級モデルは上位2%の音板のみが用いられ、広い打点位置を持ち全音域にわたってクリアで均質なサウンドを奏でる最良のマリンバとなる。高品質とリーズナブルな価格から国際的な評価も高く、約20%が海外へ輸出されている。



代表的なコンサートマリンバ